

令和5年度東北森林管理局朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（秋季）

議 事 概 要

1. 日時及び場所

令和5年11月25日（土）13：25～14：30

鶴岡市朝日中央コミュニティセンター（すいまる）

2. 議題

（1）令和5年度巡視活動結果等

①令和5年度巡視活動結果について [資料1]

②合同パトロールについて [資料1]

（2）報告事項

①森林生態系保護地域における看板の保守について [資料2]

②朝日山地保全作業（植生保護作業）について [資料3]

③マツノクロホシハバチの対応について [資料4]

④オオハンゴンソウの対応について [資料5]

⑤森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導手法について [資料6]

（3）その他

①入山者調査結果 [資料7]

3. 議事概要

（1）報告事項

①森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導手法について

②登山道整備に関わる内容について

〔委員からの主な意見〕

・人工林から天然林への誘導手法であるが、この取組について、朝日森林生態保護地域の中で、新たに取組をするような場所はないのか。また、森林生態系保護地域に関わらなくても、山形県内の森林管理署の中で取組をしようという動きはないのか。

・登山道の整備に関わる内容であるが、大鳥池に行く泡滝ダムの上流の所で、今年、環境省

や行政の方などが協力して登山道の整備をしてくれた。いつも崩れる場所で、非常に歩きやすくなったが、もうちょっと早い時期にやっていれば、朝日自然塾であさひ小学校の子供達が登るのが可能になったのではと思うが、朝日センターでイニシアティブをとって定期的な事も考えてやっていくということは考えられないのか。

〔事務局〕

- ・ 新たな場所での取組については、朝日山地生態系保護地域の保全利用地区の中で間伐とか皆伐とか大きく施業ができる場所があれば検討はしたいと思うが、今のところ森林生態系保護地域の中で施業が入ってない。施業箇所があれば検討したい。
- ・ 今年あさひ小学校の先生と大鳥池の下見に行った時は、先生方も子供たちが登山するのは危険だということで、その後、倒木もあつたりして役場の方にも相談したが、時期的にも早いということで、危険を回避して六十里越街道の方にした。実施が7月の上旬であり、その間に1回か、2回下見して、小学校5年生が安全に行けるような状況を確認しないと難しいかなと思っている。引率も皆さんにサポートしてもらっているが、落ちて怪我したとならないように注意している。来年また春に現地を見て危なくなければ大鳥池登山と学校の方とは相談はしている。六十里越街道はそんなに危険な箇所はなく、児童を連れていく者としては、なるべくリスクを避けたいと思っている。あさひの子供たちなので、どちらも大切な山だが、できれば朝日の大鳥池の方に登ってもらいたいというのが本音。また、毎年崩れる所なので、状況を見て、あと七曲りの所がちょっと細くなって危ないと思うので、そういうところを吟味しながら朝日自然塾の登山を考えていきたい。